

フィンランド語文法：豆知識⑩ フィンランド語は膠着語か

「フィンランド語との対話—吉田欣吾」

<https://yoshidakingo.com/>



日本語教育能力検定試験について 解説するサイトにおける記述 (1)

●統語的類型（語順）による分類

SOV型の言語：韓国語、トルコ語、日本語

SVO型の言語：中国語

OVS型の言語：フィンランド語



日本語教育能力検定試験について 解説するサイトにおける記述 (2)

- 日本語教育能力検定試験では、膠着語、屈折語、孤立語に関する問題が出る。
- 形態論的類型論によれば、世界の言語は、この3つのタイプに分けられる。
- 日本語は「膠着語」である。
- 膠着語：韓国語、トルコ語、日本語、フィンランド語
- 屈折語：ラテン語、ギリシャ語、ロシア語、英語



形態素・形態論について

●形態素＝意味を担う最小の単位

epäonnistun 「私は成功しない」

epä- : <反意> を表す

onnistu- : 「成功する」を表す

-n : 主語が「私」であることを表す

●形態論とは

形態素がどのように語を形成するか 

用語（孤立語・屈折語）の問題点

●二つの「孤立語」

①形態論的類型論における「孤立語」

②バスク語は属する語族が不明 ⇒ 「孤立語」

この資料では①を「孤立型言語」とする

●「屈折」語

屈折とは名詞の「曲用」や動詞の「活用」をさすが、

「膠着語」も「曲用」「活用」する。

この資料では「屈折語」を「融合型言語」とする



形態論的類型論の大枠

● 総合の指標

孤立型 (isolating)

[孤立語]

総合型 (synthetic)

● 融合の指標


膠着型 (agglutinative)

[膠着語]

融合型 (fusional)

[屈折語]

総合の指標の大枠

- 総合の指標＝接辞が付加されるかどうか、つまり語形が変化するのかどうか
- 孤立型＝形態素が語であり、接辞が存在しない（語形が変化しない）
- 総合型＝形態素に接辞が付加され意味のまとまりをつくる（語形が変化する）

総合の指標—孤立型

●孤立型 (isolating)

一形態素 = 一単語 ⇒ 接辞は存在しない

他 吃 了 一 个 油条

彼 食べる 完了 一つ 類別詞 揚パン

「彼は揚パンを一つ食ベた」 (ウェイリー：132)

*ただし北京官話にも屈折接辞、派生接辞が存在する

総合の指標—総合型 (1)

- 総合型 (synthetic)
語 (根) に接辞をつける

eciun=epakasnu

あなたたちが私たちに=教える

「あなたたちが私たちに教える」

(中川：114を参考に作成) 

総合の指標—総合型 (2)

- 多総合的 (抱合的) 言語
(polysynthetic language) : モホーク語の例

washakotya'tawitsherahetkvhta'se'


'He made the thing that one puts on one's body ugly for her.'

「彼は身につけるもの (すなわち服) を彼女のために醜くした。」

(ベイカー : 112を改変)



総合の指標の大枠 [再掲]

- 総合の指標＝接辞が付加されるかどうか、つまり語形が変化するかどうか
- 孤立型＝形態素が語であり、接辞が存在しない（語形が変化しない）
- 総合型＝形態素に接辞が付加され意味のまとまりをつくる（語形が変化する）

融合の指標の大枠

- 融合の指標＝接辞が明確に区別できるか
- 膠着型＝語を構成する要素の境界が明確である
- 融合型＝語を構成する要素の境界が明確ではない



融合の指標—膠着型

● 膠着型 (agglutinative)

語を形成する要素間の境界が明確

taloissanikinko 「私の家々においてもか」

⇒ talo-i-ssa-ni-kin-ko

家 - 複数 - において - 私の - も - か



融合の指標—融合型

●融合型 (fusional)

語を形成する要素間の境界が不明確

語中における音変化により区別される

foot > **feet**

「足」 + 〈複数〉

break > **broke**

「壊す」 + 〈過去〉

* 融合型言語を「屈折語」と呼んできた 

融合の指標の大枠 [再掲]

- 融合の指標＝接辞が明確に区別できるか
- 膠着型＝語を構成する要素の境界が明確である
- 融合型＝語を構成する要素の境界が明確ではない

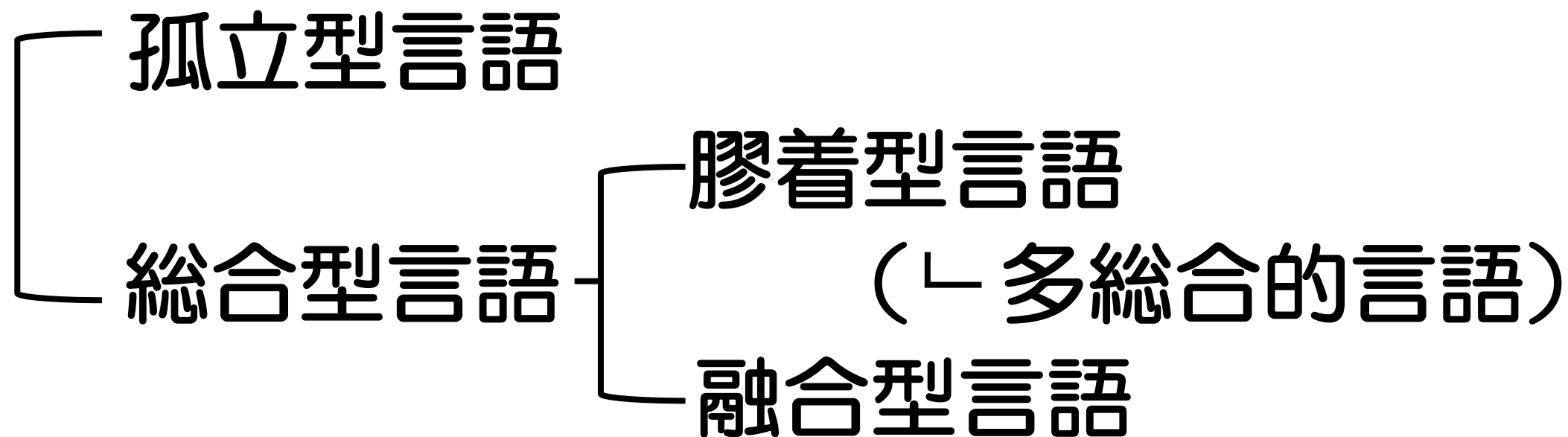


総合の指標と融合の指標

- 融合の指標は接辞を明確に区別できるかどうかによる区別にかかわる
- 完全に孤立型の言語があれば、接辞は存在しないので、融合の指標は意味なし
- 融合の指標が意味をもつのは総合型言語



形態論にもとづく言語の類型



(吉田: 56を修正)



孤立型・膠着型・融合型のサイクル (1)

● 孤立型 > [縮約] > 膠着型

**poika#mi* ‘*poika minä*’ > *poikani*

**tule#tV* ‘*tule sinä*’ > *tulet* (Lehtinen: 72を修正)

● 膠着型 > [融合] > 融合型

guolli ‘*kala*’

**guolli-n* > **guoli-n* > *guoli* ‘*kalan*’

「の」 = 属格 -n > 階程交替 -ll-:-l- [北サーニ語]

膠着型から融合型へー北サーニ語

mánná : máná < *mánnán

'lapsi : lapsen'

beana : beatnaga < *beatnagan

'koira : koiran'

boazu : bohcco < *bohccon

'poro : poron'



膠着型から融合型へーエストニア語

jõgi

jõe

jõge

jõkke

jõgi ~ jõgesid

'joki'

'joen'

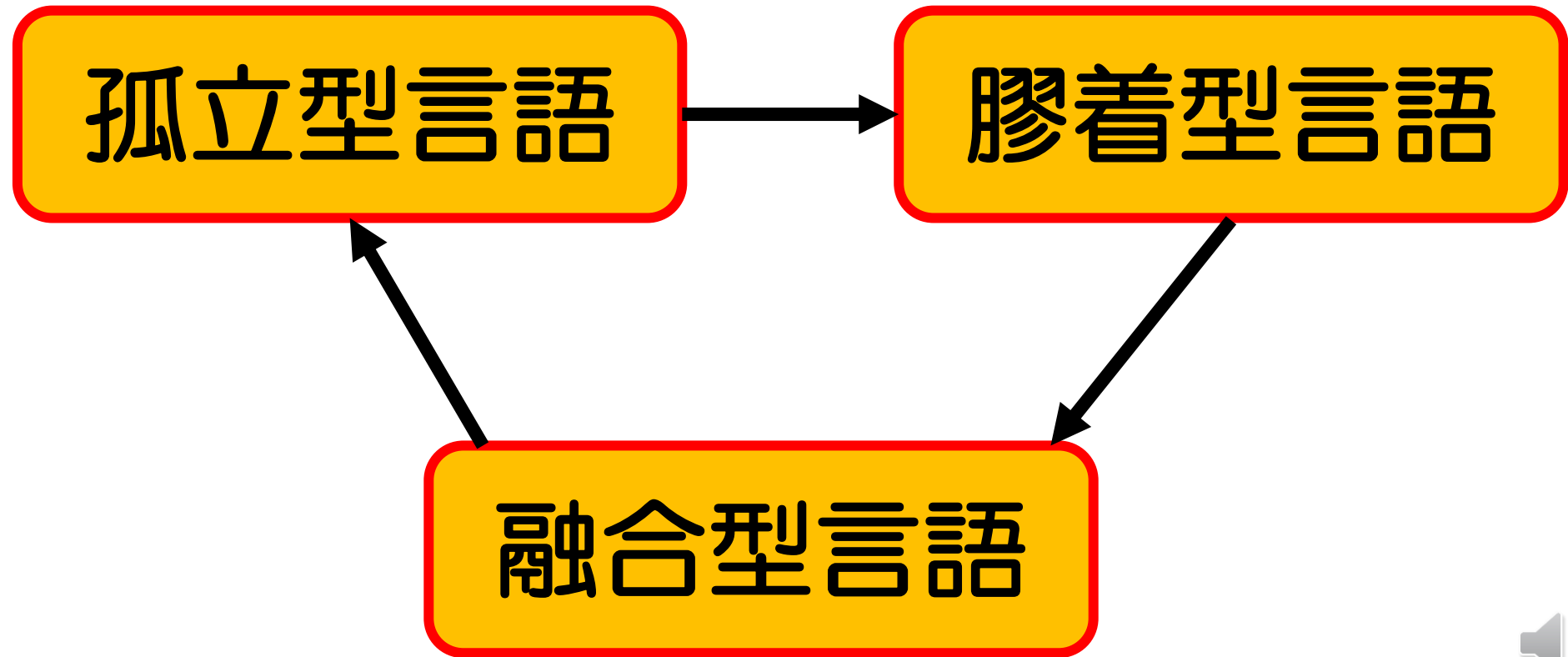
'jokea'

'jokeen'

'jokia'



孤立型・膠着型・融合型のサイクル (2)



孤立型・膠着型・融合型のサイクル (3)

●融合型 > [消失] > 孤立型

ich	esse	I	eat
du	isst	you	eat
er/sie	isst	he/she	eats
wir	essen	we	eat
ihr	esst	you	eat
sie	essen	they	eat



フィンランド語は膠着語か (1)

フィンランド語lukea「読む」の変化

		単数			複数		
		1人称	2人称	3人称	1人称	2人称	3人称
直接法	現在	luen	luet	lukee	luemme	luette	lukevat
	過去	luin	luit	luki	luimme	luitte	lukivat
条件法	現在	lukisin	lukisit	lukisi	lukisimme	lukisitte	lukisivat
可能法	現在	lukenen	lukenet	lukenee	lukenemme	lukenette	lukenevat



フィンランド語は膠着語か (2)

スペイン語 hablar「話す」の変化

		単数			複数		
		1人称	2人称	3人称	1人称	2人称	3人称
直接法	現在	hablo	hablas	habla	hablamos	habláis	hablan
	点過去	hablé	hablaste	habló	hablamos	hablasteis	hablaron
	線過去	hablaba	hablabas	hablaba	hablábamos	hablabais	hablaban
	未来	hablaré	hablarás	hablará	hablaremos	hablaréis	hablarán
	過去未来	hablaría	hablarías	hablaría	hablaríamos	hablaríais	hablarían
接続法	現在	hable	hables	hable	hablemos	habléis	hablen
	過去-ra形	hablara	hablaras	hablara	habláramos	hablarais	hablaran
	過去-se形	hablase	hablases	hablase	hablásemos	hablaseis	hablasen
	未来	hablare	hablares	hablare	habláremos	hablareis	hablaren

『スペイン語文法ノート』 (<https://rondely.com/esp/verb/ar.htm>) を参考に作成

フィンランド語は膠着語か (3)

フィンランド語が膠着語とされる理由

名詞の格が多い (15格)

しかし「屈折語」にも多くの格がある
(Dahl: 549)

フィンランド語は膠着語か (4)

チェコ語の格変化例			
		power	city
単数	主格	síl-a	měst-o
	生格	síl-y	měst-a
	与格	síl-e	měst-u
	対格	síl-u	měst-o
	呼格	síl-o	
	前置格	síl-e	měst-ě/měst-u
	造格	síl-ou	měst-em

『チェコとチェコ音楽とチェコ語のページ』

(http://home.netyou.jp/aa/fairport/sandy/81/cs81bb00_declension.htm) を参考に作成



フィンランド語は膠着語か (5)

単数主格

kak**si**

vapau**s**

単数属格

ka**hden**

vapau**den**

単数分格

ka**hta**

vapau**tta**

単数入格

ka**hteen**

vapau**teen**

複数入格

ka**ksiin**

vapau**ksiin**



日本語は膠着語か

●刷る

suranai/**sur**imasu/**suru**/**suru**toki/**sure**ba/**sure**

●する

sinai/**si**masu/**suru**/**suru**toki/**sure**ba/**siro**~**seyo**

●来る

konai/**ki**masu/**kuru**/**kuru**toki/**kure**ba/**koi**



英語は「屈折語」か

●英語は「屈折語」（「融合型言語」）か

walk > walk**ed**

work > work**ed**

play > play**ed**

love > lov**ed**

turn > turn**ed**

stay > stay**ed**

.....

move > mov**ement**

happy > happ**iness**

.....



スウェーデン語は「屈折語」か

- スウェーデン語は「屈折語」（「融合型言語」）か

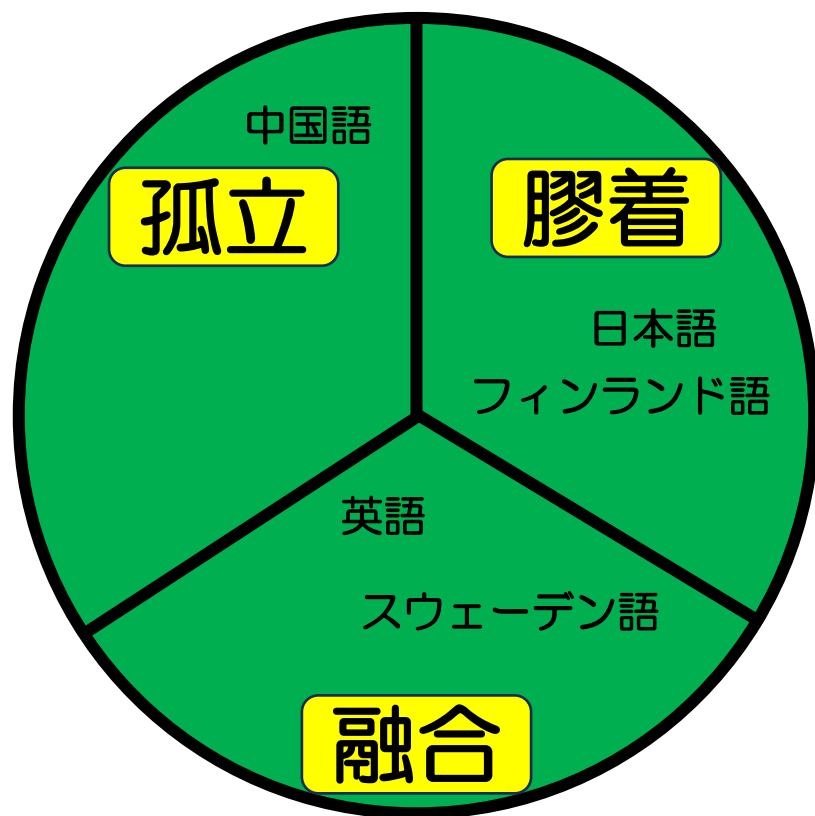
hund-ar-na-s svans-ar kupera-de-s.

犬+複数+定+属 尾+複数 短くする+過去+受動

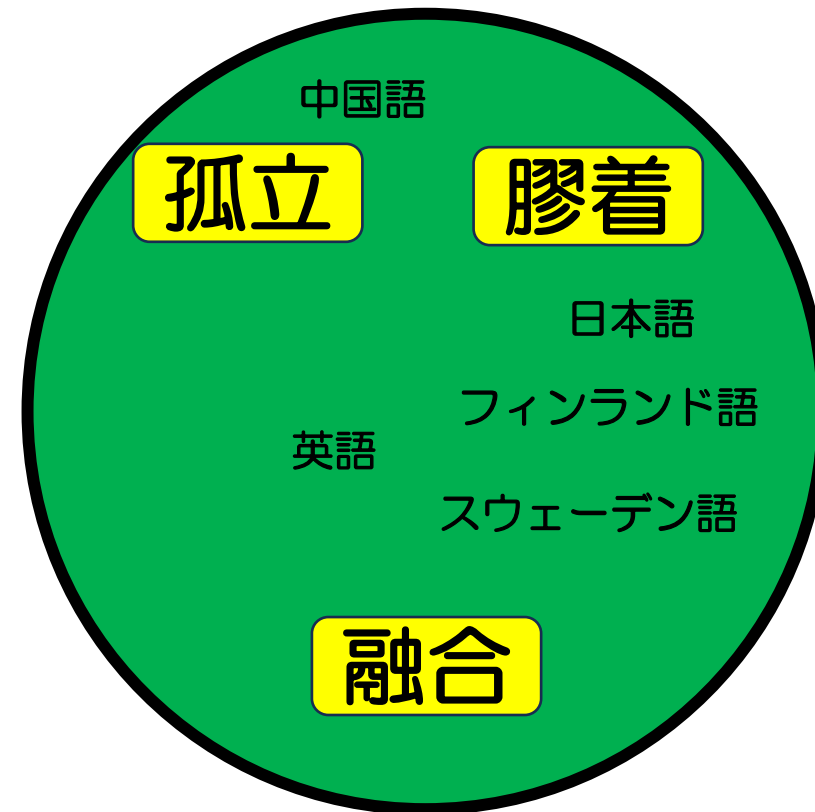
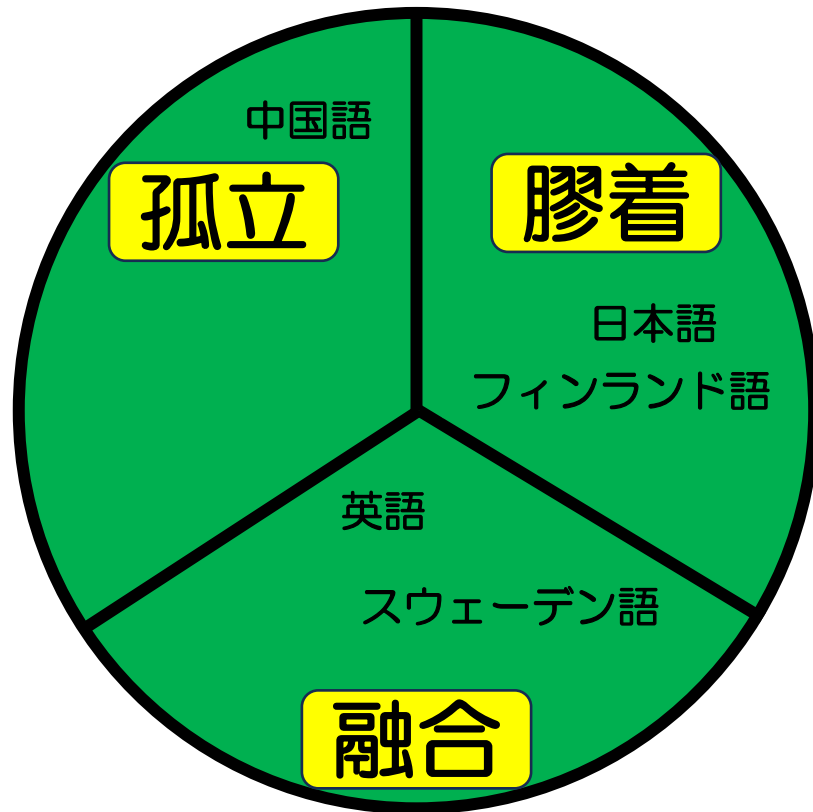
「その犬たちの尻尾は短くされた。」

（Dahl: 547を改変）

形態論的類型論の考え方 (1)



形態論的類型論の考え方 (2)



形態論的類型論の考え方 (3)

- フィンランド語／日本語／スペイン語／チェコ語／英語／スウェーデン語は膠着型言語と融合型言語の特徴をもつ。さらに英語は孤立型言語へ近づいているといえる。
- 類型とは相対的なものであり絶対的なものではないので、「日本語は膠着語である」という表現には大きな問題があるのでは。

参考文献

- リンゼイ J. ウェイリー（大堀ほか訳）． 2006. 『言語類型論入門』 岩波書店
- 中川裕. 2021. 『ニューエクスプレスプラス アイヌ語』 白水社
- マーク・C. ベイカー（郡司隆男訳）． 2003. 『言語のレシピ』 岩波書店
- 吉田欣吾. 2008. 『「言の葉」のフィンランド』 東海大学出版会
- Dahl, Östen. 2008. “Kuinka eksoottinen kieli suomi on?” . *Virittäjä* 4/2008.
Kotikielen seura.
- Lehtinen, Tapani. 2007. *Kielen vuosituhanneet*. Suomalaisen kirjallisuuden seura.

